

友愛結婚

帝キネ 現代映畫

脚色者 水谷 豊田 小原 豊田 小原 治

撮影者 主要役割——

安江 上村 葉山 藤間 秩父 大野 歌園 酒場の女マヤ 酒場の母 ユカリ ユカリの夫 安江の姉

牧野 野英 野勇 浅野 星 野 歌園 川 千 枝 子

和夫 時岡の友人 解説——松竹蒲田映畫「都會を泳ぐ女」の監督者豊田四郎氏の帝キネ入社第一回作品である。略筋——都會の女學校から歸つて病を養つてゐた安江は間もなく全快して又都會へ旅立つた。牧場で働いてゐた和夫は安江が好きであつた。幾年かの後、安江はある港町の商館でタイピストとして働いてゐた。安江とその友のユカリはふさした事から船員時岡と知り合ひになつた。若し、彼等の間には有無相通するものがあつた。安江と時岡と結婚する爲めには時岡は船員を止めなければならなかつた。ある日時岡は置手紙を出して出て行つた。その後を追つてアパートを出た安江は偶然和夫の乗り逃げる自動車に倒された。和夫はユカリと結婚してゐたのであつた。しかし今は安江の出現により別れて呉れと頼む。彼等と彼女等の上にそゝがれる榮光は？